

予防接種は秋月藩から始まった

予防接種は 秋月藩から 始まった

富田英壽



【推薦のことば】



秋月黒田家十四代当主
黒田 長榮

富田英壽氏は、二〇〇五年に『種痘の祖・緒方春朔』を発売され、また雑誌、講演会などで「緒方春朔の偉業について紹介」しておられます。

今回の出版は、地元の推進団体の要望もあり「予防接種は秋月藩から始まった」と題し、二〇一五年二月十四日の予防接種記念日に併せて出版されることになりました。

近年は医学、化学等の進歩により流行病は減ってきましたが、二〇一四年「エボラ出血熱」「デング熱」が未だ世界中の話題になっています。また、二〇一四年の物理学部門のノーベル賞が日本人の学者に決まりましたが、何時の時代でも、素晴らしい研究成果には必ず支援の方々の協力があります。

緒方春朔の種痘の成功にしても、大庄屋天野甚左衛門の協力と秋月藩主黒田長舒公の支援があつて実現したと富田氏は詳しく書かれておられます。

秋月黒田家の十四代ですので、ご先祖の功績について深く敬意を払い、又誇りに思っています。

この本は前回の単行本より広く当時の様子について書かれていますので、地元の秋月の方々のみならず、一般の多くの人に読まれることを希望します。

2月14日は予防接種記念日 予防接種を受けましょう

【はじめにより】

秋月藩医緒方春朔は、種痘（天然痘の予防接種）を発明したのではありません。中国で早くからなされていた種痘が、中国の医学書『醫宗金鑑』によって日本に入ってきたが、長年医者の誰も試みようとするものがいなかったのです。

それは、天然痘は大変恐れられていた病気でしたので、天然痘患者のかさぶたを利用して行う種痘は、とんでもないことで、医者も病気を恐れて誰も試みようとする人はいませんでした。まして、医者が試みようとしても、それをさせるような人も、いなかったのです。

そんな中、緒方春朔が幾多の困難を乗り越えて、日本で初めて実施し成功させたのです。

江戸時代末期に、秋月地方で天然痘が大流行し、多くの子供たちの命が失われていました。このような大変恐ろしい病気から幼い子供たちを救うためにどうにか出来ないかと真剣に考えて、その解決に立ち向かった人たちがいました。

その人たちとは、秋月藩医緒方春朔、大庄屋天野甚左衛門と秋月藩主黒田長舒であります。

緒方春朔は、長年種痘の研究をし、ほぼ実施のめどが立ちました。しかし種痘の実験台に困っていたところ、かねてから春朔から種痘の話聞いていた、上秋月の大庄屋天野甚左衛門が、自ら進んで自分の二児を実験台に使うように申し出たのであります。

その頃の秋月藩は、病の流行や、たび重なる自然災害によって、特に享保の大飢饉による人口の激減などがあり、農村の多大なる疲弊がありました。

天野甚左衛門は、大庄屋という村役人で農村の復興と安寧を願う立場から、地域の幼い子供たちを二人でも多く病から救おうと願って、自分の子

供を実験台に提供して、緒方春朔を援助したのではないかと推測されます。まさしく役人の鏡であります。

緒方春朔は、寛政二（一七九〇）年二月十四日に、天野甚左衛門の二児に初めて人痘種痘を実施し成功しました。その後、秋月藩の同僚医師たちの理解と協力を得て、種痘は町民に少しずつ広がっていきました。

藩主黒田長舒は、緒方春朔を藩医に取り立て、全国に広げるように支援しました。医術の秘伝家伝の時代に、黒田長舒の支援により、春朔は種痘の本を書いて皆に伝え、教えを請う医師には進んで迎え、全国に広げて行ったのであります。

米沢藩主上杉鷹山を叔父に持つ、秋月藩主黒田長舒は、為政者の範であります。

日本の予防接種・種痘は、秋月藩において日本で初めて成功し、秋月から始まって全国に広まっていった訳です。あの有名なジェンナーの牛痘種痘法発明に、先立つこと六年前のことであり、これがわが国の天然痘予防の第一歩となったのであります。……

予防接種は

秋月藩から始まった

頒価 一、五〇〇円（税込み）

二〇一五年二月十四日 第一刷発行

著者 富田 英壽

（医療法人 富田耳鼻咽喉科医院理事長）

発行 富田 英壽

制作（販売）株式会社 四ヶ所

〒八三八一八五二二

福岡県朝倉市馬田三三六

TEL 〇九四六一三一三三六九

FAX 〇九四六一三一三九八〇四

西日本新聞エリアセンター甘木(左下)にお電話注文いただくと朝倉地区内の方にはお近くのエリアセンター(右下)よりご自宅へお届けします。

ご注文は
平日受付
9:00~17:00
西日本新聞エリア
センター甘木
☎ 22-2185

お届けは
お近くの
西日本新聞
エリアセンター(AC)
— 販売店 —

- ・ AC 宝珠山
- ・ AC 甘木東
- ・ AC 三夜山
- ・ AC 杷木南
- ・ AC 甘木南
- ・ AC 三夜山
- ・ AC 志波
- ・ AC 甘木秋
- ・ AC 朝倉町
- ・ AC 朝倉町
- ・ AC 朝倉町